

菊池空齋 きくち くうさい 畫家。天明八年十一月一日江戸生れ、明治十一年六月十六日歿（一七六一—一八七六）。舊姓河原、諱武深、字定卿、通稱畫平。別號空齋居士、手毛八筆、無盡庵、鈴齋符、雲水、雲水無盡、雲笠等。初の狩野派の畫法を學び、のち土佐派を徹して独自の畫風を作り空齋派の一流を創始。門下は松本楓湖、渡邊春亭、尾形月耕等錚々たる名家を出した。『前賢古實』全十巻を著し、明治天皇より「日本畫士への稱を賜はる。

『空齋歌稿』

菊池祥郎編、昭和十六年十一月一日空齋會、

結城素明著『動王畫家菊池空齋の研究』（昭和十年九月十五日古今堂）刊。